

## 専門研究B

# 特別支援学校(肢体不自由)の AT・ICT 活用の 促進に関する研究

—小・中学校等への支援を目指して—

(平成24年度～25年度)

## 研究成果報告書

平成26年3月



独立行政法人  
国立特別支援教育総合研究所

## はじめに

本研究は、中期目標期間を見通して特定の包括的研究テーマ（領域）を設定し、複数の研究課題から構成された研究を進める中期特定研究「特別支援教育におけるICTの活用」に位置づけられています。

本研究では、特別支援学校（肢体不自由）の専門性において、きわめて重要な位置を占めるAT (Assistive Technology: 支援技術 以下「AT」という)、特にe-AT (electronic and information technology based Assistive Technology: 電子情報通信技術をベースにした支援技術 以下「e-AT」という)とよばれるICT (Information and Communication Technology: 情報通信技術 以下「ICT」という)の役割を重視したATの活用を対象としました。そうした理由より、標題にあるように「AT・ICT」と併記しております。

本研究では、特別支援学校（肢体不自由）におけるAT・ICT活用に関する現状と課題について、全国特別支援学校（肢体不自由）を対象とした調査から把握し、整理・分析しました。そこで明らかとなった課題の解決を図るための考え方と実践事例を示しました。あわせてAT・ICT活用の促進を図るための学校の組織的な取組を把握するためのツールとして、「支援技術(AT)活用の自己評価マトリクスー特別支援学校(肢体不自由)版」を開発しました。

さらに、特別支援学校のセンター的機能を活用した小・中学校での肢体不自由のある児童生徒へのAT・ICT活用の現状と課題について、調査結果と実践事例より考究しました。

巻末には、本研究で開発し試用した「教員のAT・ICT活用に関する自己評価と研修ニーズ調査票」と「支援技術(AT)活用の自己評価マトリクスー特別支援学校(肢体不自由)版」を資料として載せました。

本研究成果報告書をご活用いただき、実践にかかわる様々な情報やご意見をいただければ幸いです。

平成26年3月  
研究代表者 企画部総括研究員 長沼 俊夫



# 目次

はじめに

## I 研究の概要

1. 研究の背景と目的 . . . . . 1
2. 研究方法 . . . . . 2
3. 研究活動（経過の概要） . . . . . 3

## II 肢体不自由のある児童生徒のA T・I C T活用

1. A T及びI C Tの定義 . . . . . 6
2. A T及びI C T活用に関するこれまでの我が国の動向 . . . . . 6
3. 特別支援学校(肢体不自由)における  
組織的なA T・I C T活用の促進 . . . . . 8

## III 特別支援学校（肢体不自由）におけるA T・I C T活用に関する現状と課題 －「特別支援学校（肢体不自由）におけるA T（I C Tを含む）の活用とセンタ ー的機能に関する調査」より－

1. 調査の目的 . . . . . 10
2. 方法 . . . . . 10
3. 結果 . . . . . 12
4. 考察 . . . . . 25

## IV 特別支援学校（肢体不自由）におけるA T・I C T活用の専門性を高める組織 的な取組

はじめに . . . . . 28

### 1. 実践事例－先行的な取組

- (1) 校内組織の連携によるA T機器の活用に向けた「A Tライブラリー」の  
取組（福島県立郡山養護学校） . . . . . 29
- (2) 多様なニーズに対応した研修の取組－「多様で多層的な研修」（香川県  
立高松養護学校） . . . . . 35
- (3) 児童生徒のニーズに応える実践をサポートする取組－「i レスキュー」  
（香川県立高松養護学校） . . . . . 42
- (4) 相談支援体制を充実させた取組－「A T相談」（愛知県立ひいらぎ養護  
学校） . . . . . 50

2.	実践事例－「教員のA T・I C T活用に関する自己評価と研修ニーズ調査」に基づいた取組	
(1)	教員のA T・I C T活用に関する自己評価と研修ニーズ調査の概要	57
(2)	児童生徒の個別のニーズを組織的に見直す取組－ (横浜市立上菅田特別支援学校)	59
(3)	運営組織と研修企画を組織的に見直した取組－(静岡県立中央特別支援学校)	68
(4)	運営組織及び研修企画の組織的見直しの効果の検討(静岡県立中央特別支援学校)	85
3.	支援技術(A T)活用の自己評価マトリクス－特別支援学校(肢体不自由)版－	96
V	特別支援学校(肢体不自由)におけるA T活用を生かしたセンター的機能発揮の取組	
1.	特別支援学校(肢体不自由)におけるA T・I C T活用を生かしたセンター的機能の発揮に関する現状と課題～「特別支援学校(肢体不自由)におけるA T(I C Tを含む)の活用とセンター的機能に関する調査」より～	108
2.	実践事例	
(1)	高知県における取組(高知県立高知若草養護学校・土佐市立宇佐小学校・土佐市立宇佐南中学校)	115
(2)	福岡市における取組(福岡市立南福岡特別支援学校)	124
VI	総合考察	
1.	特別支援学校(肢体不自由)のA T・I C T活用の現状と課題	132
2.	特別支援学校(肢体不自由)におけるA T・I C T活用の専門性を高める組織的な取組	133
3.	小・中学校等に在籍する肢体不自由のある児童生徒へのA T・I C Tを活用した指導・支援のために、特別支援学校(肢体不自由)のセンター的機能が貢献できる可能性等	134
VII	今後の課題	136
VIII	文献	137

## IX 資料

1. 特別支援学校(肢体不自由)におけるA T ( I C Tを含む)の活用とセンタ  
ー的機能に関する調査票 . . . . . 139
2. 支援技術 ( A T ) 活用の自己評価マトリクスー特別支援学校 ( 肢体不自由)  
版ー . . . . . 150
3. 教員のA T ・ I C T活用に関する調査票(一次) . . . . . 158
4. 教員のA T ・ I C T活用に関する調査票(二次) . . . . . 161
5. 特殊教育学会発表ポスター . . . . . 163
6. 特殊教育学会企画シンポジウム . . . . . 164
7. A T A Cカンファレンス発表ポスター . . . . . 165
8. 日本教育情報学会課題発表 . . . . . 167

## X 研究体制 . . . . . 171

おわりに

